

「みぞれとサクラ」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

みぞれとサクラは相いれない。しかし今日は現実にそれが同居していた。今日の東京は朝から非常に寒く、冬のような一日だった。



私は深川郵便局に書留をとりに行くために、早朝に車で出かけた。外に出る前から、激しい雨音には気づいていたが、降っていたのは何とみぞれである。気象庁の基準では「みぞれ」も「降雪」と判定する。3月下旬の東京で降雪があるのは、非常に稀だろう。



これがその「証拠写真」。車のフロントガラスに、確かに雪粒がついている。すぐに融けてしまうのだが、間違いなく「3月のみぞれ」である。



ところが、大学構内には、すでにサクラが開花していた。花もみぞれに襲われて、さぞ驚いたことだろう。



写真は今日の北軽井沢の積雪の様子である。40cm以上積もっている。3月下旬としては、非常に珍しいことだ。

地球は平均的に見て温暖化をしていると言われている。しかし最新の研究では、実は寒冷化に向かっていくという説もあるという。そのメカニズムは以下のようなものだという。

- ①太陽の活動が衰退期に入る。(黒点が減る)
- ②太陽からの粒子が減り、地球を宇宙線から守るバリアが薄くなる。(つまり無防備になる)
- ③その結果、宇宙から地球に降り注ぐ、宇宙線の量が増える。
- ④宇宙線は、雲粒の核となる微粒子の生成を促進し、大量の雲粒が生成される。
- ⑤本来雨となるはずの雲粒が、雲のまま留まる。
- ⑥太陽光が地上に届かず、寒冷化が起こる。

このことは、古文書による桜の開花時期や、屋久杉の年輪の調査でも証明されているという。まさに「宇宙規模の気候変動」が始まっているのかも知れない。